

平成28年度学校運営計画書

学校名 野崎小学校

校長名 岩井秀文

作成日 平成28年4月19日

学校教育目標

豊かな感性を身につけ、主体的に学習に取り組み、夢に向かってチャレンジする子どもを育てる

育てたい子ども像

自ら心身をきたえる、
たくましい子ども

思いやりのある
心豊かな子ども

深く考え、
ねばり強くやり抜く子ども

開かれた学校

ゆたかな心

確かな学力

<p>本年度の重点目標</p>	<p>① 常時、学校と家庭、保護者との連携を密に図ることにより、協力体制を築く。 ② 必要に応じて、スクールカウンセラーや関係機関等との連携も積極的に行う。 ③ 学校行事の精選と校務分掌の役割分担を検討、簡素化し、保護者や子どもに関われる時間を重視する。</p>	<p>① 生命の尊さ、自他の人権を尊重する態度や道徳心を培い、好ましい人間関係をつくる。 ② 健全な心身の発達のため、食育を見直したり、積極的に大会、運動行事等への参加を促したりして、体力の増進を図る。 ③ 学校施設の老朽化に伴う修繕や備品の購入など、改善に向けて努力する。</p>	<p>① 集中力、読解力をつけるための読書活動、基礎タイム、うちどくの更なる充実に向けて検討する。 ② 学力向上につながるような問題整理、能力別問題づくりなどの実施計画等を作成する。 ③ 全教職員による児童の理解と知識の共有、また、現職教育も含め、指導内容の充実に向け努力する。</p>
<p>目標達成に向けた具体的方策</p>	<p>① 子どもを全教職員で見守るために子どもの顔を覚え、問題行動や気になることがあれば情報を共有し、連携の強化を図る。 ② 学校行事はもとより、スポーツ大会等の広報・啓発と地域・保護者の応援・協力を促し、連携を強化する。 ③ 地域や保護者への情報発信と、スクールカウンセラーや関係機関との連携・協力により、開かれた学校づくりをし、児童の実態把握と問題解決に向けて努力する。</p>	<p>① 読書タイムだけでなく、「うちどく」の設備充実（本が読める環境づくり）を図る。 ② 障害のある(境界値児童も含む)児童に関わって、インクルーシブ教育システムの理解・活用及び推進に努める。 ③ 挨拶をはじめとした基本的な生活習慣の大切さを認識させるため、教職員の共通理解と児童への指導の徹底を図る。 ④ いじめ防止、思いやりの心などの醸成のための道徳、人権教育の充実を図る。また、教職員に敏感なアンテナを備えさせ早期発見・対応を心がける。 ⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備、美化に努める。</p>	<p>① うちどくを活用したり、国語科への研究を深めたりすることで話す・読む・聞く力等をつける。 ② 各学年で創意、工夫を凝らして基礎タイム、フォローアップタイムを充実し、その結果を検証しながら改善し、より良い方向性を探る。 ③ 国語科を中心とした研究授業等を行い、音読指導やノート指導を高めていくことで国語能力の向上を図る。 ④ 地域や自然の利を活用した体験活動や問題解決学習に積極的に取り組む。</p>